


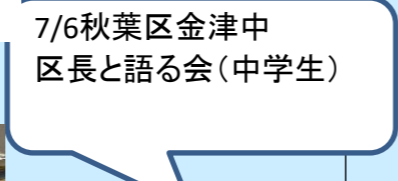
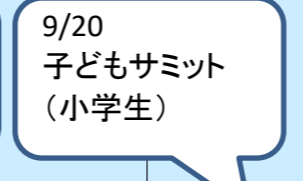
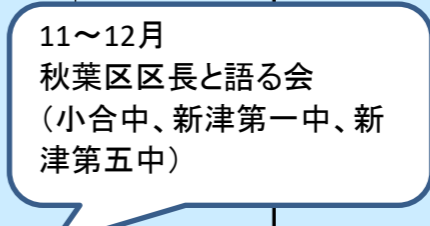


●令和5年度子ども条例に基づく取組(実績及び予定)

区分	R6(2024)年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I 普及・啓発と学習・研修	1発達段階に応じた啓発資料の作成と展開 2周知・啓発キャンペーンの実施 3多様な情報発信ツールを活用した周知・啓発 4子どもと関わる職員等の研修を通じた理解の促進 5妊娠期からの継続した学びの機会の 6学校や地域活動における子どもとおとなへの周知 7情報が届きにくい子どもへの配慮 8事業者への周知・啓発											
	4月  新潟市子どもの権利週間 ・4/24-5/10懸垂幕の設置 ・GW期間アイスアリーナにおけるパンフレット、ポケットティッシュ配布 ・関連イベントの実施 5/5(金・祝)子ども創造センター ・参加人数約1,000名・285組 ・ほのわちゃん塗り絵の展示118枚 ・条例周知用パネル展示、パンフレット配布他 5/16(火)民生委員・児童委員連合 7/6(木)放課後児童クラブ 第1回ネットワーク情報交換会 7月中旬 保育施設、小・中学校職員等への周知・取組事例紹介 10/27(予定)主任児童委員研修会 1月(予定)主任保育士研修会											
	7月 ーパンフレットー ・7/20(木) 市内小学校、中学校に電子データ送付※啓発動画の視聴依頼を含む ・9/4～新小学校1年生、中学校1年生に冊子配布 ー動画ー ・10月中旬 市内保育園、こども園等へ動画の活用を依頼 ー新潟市子どもの権利月間ー ・関連イベントの実施 ・11/1-8、18-30懸垂幕の設置 ・10/25～11/24SNS広告 (Instagram, facebook) ・assh11/9号への掲載 ・その他、連携イベントでの周知 ー認知度調査ー ・assh12/14号にアンケートについて掲載 (募集期間12/14-R6.1/13) ーSNS広報ー ・1月～YouTube広告(予定)											
	(随時)市ホームページ、市政情報モニター、にいがた子育て応援アプリ、市公式LINEを使用した情報発信、市報11/5号予定											
	(随時)職員研修等における子ども条例の理解促進・講師派遣等											
	(R5.4以降)母子健康手帳への条例概要の掲載											
	(随時)区や公民館等での講座参加者へのパンフレット等の配付・周知											
	(随時)学校・地域における活動において機会を捉えた普及・啓発											
	(随時)関係機関と連携した普及・啓発の推進											
	(随時)包括連携協定事業者等への周知及び広報協力依頼 商工会議所会報誌等への掲載											

●令和5年度子ども条例に基づく取組(実績及び予定)

区分	R6(2024)年										R6(2024)年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
Ⅲ意見表明・社会参加	1子どもの意見表明や社会に参加する権利の理解促進												
	普及・啓発と学習・研修の取組と連動しながら、意見表明・社会参加についても理解を促進												
	2子どもが市政に参加する仕組みづくり												
	<p>令和4年度秋葉区長と未来を語る会</p> <p>7/6秋葉区金津中 区長と語る会(中学生)</p> <p>9/20 子どもサミット(小学生)</p> <p>9/26.27 中学生意見表明(12校)</p> <p>11~12月 秋葉区区長と語る会(小合中、新津第一中、新津第五中)</p> <p>子どもの意見表明</p>												
	     <p>令和4年度中学生の意見表明の様子</p>												
3学校生活や地域づくりでの子どもの意見の反映													
(随時)区・学校・地域における意見表明・社会参加の取組実施(コミュニティスクール・いじめ見逃しゼロスクール等)													
区・学校・地域における取組事例の収集													
好事例のまとめ・関係機関へ共有													
4子どもの意見をくみとるファシリテーターの育成													
ファシリテーター育成に係る検討・調整、継続的なファシリテーターの育成に向けた検討・調整													
5意見を発信することが難しい子どもへのサポート													
アドボカシー制度構築と連動しながら検討・調整													